（第三種郵便物認可）　昭和十三年九月五日（月曜日）

臺灣日日新報

本日八頁

編輯兼發行人　佐々木雅

臺北市北門町二丁目二番地
臺灣新聞社

電話　編輯二三二六　營業二三二五

本紙定價　一部三錢　一ヶ月前金四圓五拾錢　半年分前金八圓　一年分前金十六圓　（日本國內及支那各料共）

廣告料　一行十五字　同一日五回　同一行十五字　同一月　同一年

廣告口數　一回　一ヶ月　一年

廣告代表者　佐々木雅

電報略號　臺灣日日新報社

マツダランプ

炎熱冒し瘴癘と闘ひ
數倍の敵に月餘勇戰
廬山峻嶮を突破進擊

【上海三日發同盟】三日午後九時中支軍發表—七月下旬に於ける九江攻略戰に引續き廬山西麓の峻嶮たる山系に據る數線の敵陣を攻略中たりし我部隊は炎熱を冒し瘴癘に克ち數倍の敵に對し勇戰奮闘すること月餘に及び遂に二日敵が死守せる廬山の西角牛頭山及び馬鞍山の堅陣を突破、同日午後前面の敵に進擊を開始し峻峯廬山に徙る銃砲聲は逐次南方に移りつつあり

廣濟迄あと二里
我軍の意氣衝天
敵抵抗線を猛攻突破

【〇〇三日發同盟】大別山系の嶮峻とされに迫る廣濟地帯を利用した敵抵抗線に猛烈火を浴せて強行突破を敢行しつつある左翼長谷川中將、右翼佐藤、若松の各部隊は敵必死の防禦線を粉砕して昨日夕刻遂に廣濟防禦の最後的抵抗線たる蕭家、田家寨、大窑山の線に進出した、この山一つ越ゆれば廣濟城は後一里に迫り我將兵の意氣天を衝くの概がある

二百三高地にも優る
高峰を悉く占領

【〇〇四日發同盟】廣濟城地の第一、第二線を猛行突破した若松、中野、長谷川各部隊は敵最後の防禦線たる蕭家寨、田家寨、金山寺、大窑山に向け四日午前六時を期し一斉に攻撃を開始し死物狂ひとなつて抵抗する敵を猛攻、敵の荒鷲の爆撃の下に二百三高地にも優る高峰を次々と占領午前八時過に共前後線を突破山頂へ日章旗を掲げた、一瞬もなく崩れた敵は廣濟を打捨て敗走し遂に、我部の勝鬨は大低谷渡行を繰返してこの敗敵に思ふさまに機銃の掃射を浴せ大損害を與へた、我將兵は目差す廣濟城を俺が一番の眼下に見下し一気にこれを陥れんとしてゐる

山嶮要衝無山を急襲
石本、平田、中島各部隊
無山を占領

【鳥龜山三日發同盟】揚子江南岸地區を猛進擊中の我石本、平田、中島の各部隊は三日夕刻突如赤湖西南岸の敵山嶮要衝無山を急襲、天嶮に據り頑強に抵抗する敵を攻撃中

【瑞昌四日發同盟】四日午前一時頃後たれた敵後に乘じ無山の敵地を奪取すべく攻撃を開始した石本行本部隊は分山、黒人坡の兩高地に挑まれた道路より進撃し武溪部隊は湖岸よりの緩やかな斜面を辿り大時間の苦闘の後四日午前七時四十分遂に無山を占領、山上の無山寺の塔上高く日章旗を翻へした、更に石本部隊は最後を馬力に猛進、つべく四日午後七時頃無山西方の黒人坡、大山域、白龍墨の敵陣地に向け攻撃を開始した

【鳥龜山四日發同盟】無山を奪取した我石本、平田、中島各部隊は更にその西方黒人坡、大山域、白龍墨の敵陣地を次々に突破し浸足立つた敵をひ神しに混戦し、一方〇〇及び永非師部隊は相呼應して一挙に江西、湖北省境の敵大集團を殲滅すべく西北方に猛進中

瑞昌より一齊に猛進擊

【瑞昌三日發同盟】我軍〇〇部隊は三日夜半瑞昌より揚子江岸〇〇に到着、向つて一路に猛進を開始した

敵大部隊は大混亂

【九江三日發同盟】三日早朝瑞昌を突破した我中隊は更に〇〇に迫し三日午前九時同地南方の北平東山の敵陣に殺到、又牛頭山陣地を奪取した〇〇部隊は三日正午頃同地南方約一里の酒湖嶺を突破し南の如く殺戮せた、我部隊の猛進振りは約〇〇各敵線とも敵大混亂に陥つた

密集部隊に空より痛擊

【南京四日發同盟】中支第四一半部隊は三日早朝新鮮の鋭気、驟雨を衝いて徳安南方地區を奪取、南浦鉄路沿ひの日月岩を北上しつつあ[illegible]の華ゆる敵軍殲滅隊は三日早朝新鮮の鋭気、驟雨を衝いて徳安南方地區を奪取、南浦鉄路沿ひの日月岩を北上しつつあ[illegible]者に二十数輛の大戦を発見、これに機銃を加へて殲滅を加へたのち、更に徳安の西南方約三粁の地点に敵を追撃、[illegible]を利用して南方に猛進を加へて日月岩に到達、[illegible]を[illegible]し[illegible]を[illegible]

生産擴充
再改訂四年計畫
近く閣議で決定
來議會に提出決意

【東京四日發同盟】臨時經濟調査部の核心をなす生産擴充四ヶ年計畫は目下企畫廳で再改訂中で既にその要綱は出來上り著々細目の具體化に力めてゐるから近く閣議決定を見る筈である、再改訂の生産擴充四ヶ年計畫は昨年の五ヶ年計畫を縮口修正後の事態に即應せしむべく再改訂されるに至つたものでその第一目標は物資の自給自足なる點に在り、而も目標達成を二ブロックとして臨時重要物資に關する生産力を飛躍的に擴充しこれが年次的に其計畫生産

轉業對策部を設置
商工省、現實に則應

【東京四日發同盟】商工省では近く省内に轉業對策部を設置し中小商工業者の失業者及び轉業の斡旋に當ることとなつた、商工省では同計畫実施に伴ふ大の刃点を減かんとするものであるが同計畫実施に伴ふ大の刃点を減かんとするものは目動早、工作機械、特殊鋼、非鉄金属等の工業生産部門である、商工省では

長期戰下に於ける主要物資の動向（一）

本社大阪支局調査

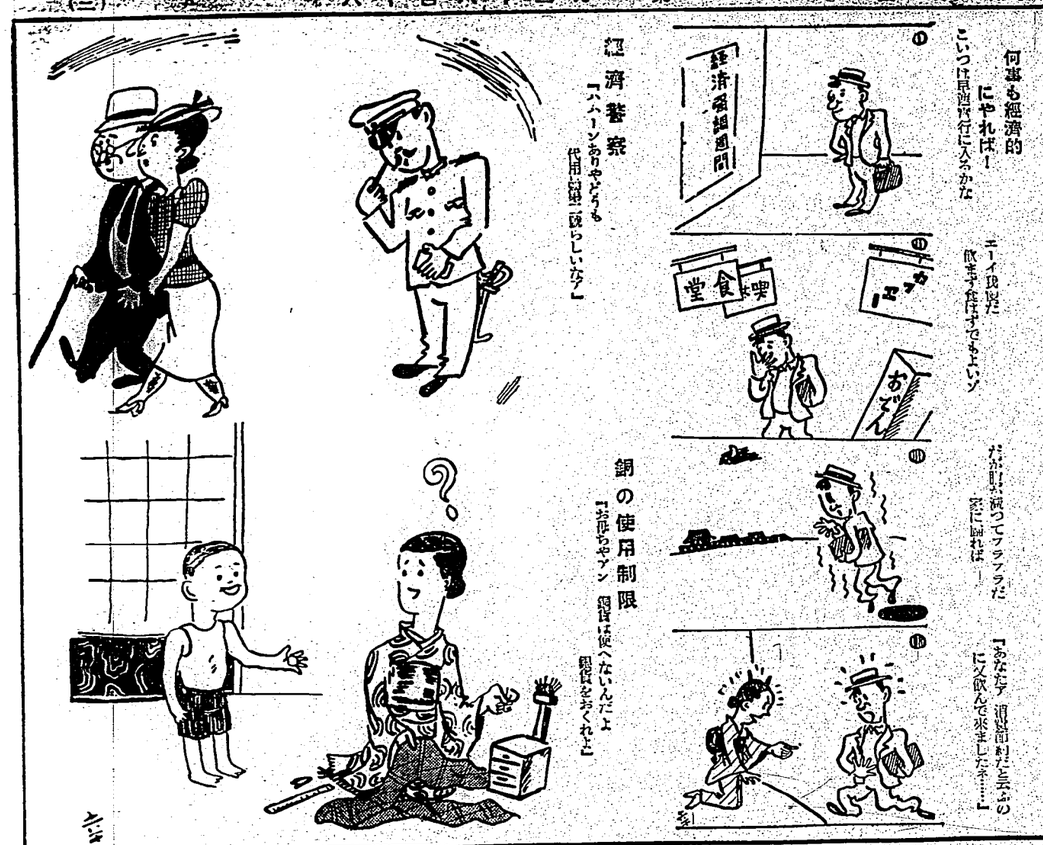
支那事変も一周年を過ぎ愈々漢口攻略により戰局は一大轉機を画んとし最後の断末に近づきつつあるこゝを思はしめるが此の秋今迄の長期抗戰を顧みると上事変の前途は尚遠しと思はなければならない帝国一致益々堅持久の覚悟を以て長期戰に備へると共に他面戰後の重大なる經綸に資する為戰後における經濟戰の遂行に万全を期せねばならない。之が為に物資の消費節約、物資の活用、廃品の回収、貯蓄の奨励、生活の簡新、物價騰貴の抑制、生産の増進等が挙げられ国民全體の実践努力が要求されるのである所謂物資動員計畫なるものがそれで要するに是は戰争目的遂行の必要上重要資源を統制運用し物資の生産、配給、消費の全般に亘る統制を強化し戰争目的の為消費節約や貯蓄の実行を奨励するのであるから我国力の発揮上最も重つ且つ生産力拡充強化の為消費節約や貯蓄の実行を奨励するのである所謂物資動員計畫の一方法として一般物資の需給調整を計つた、即ち統制を強めて鉄鋼、金、白金、銅、亜鉛、錫、ニツケル、アンチモン、水銀、アルミニユーム、石綿、雲母、羊毛、パルプ、紙、硫黄、皮革、木材、重油、揮發油、生ゴム、タンニン材料、工業鹽、ベンゾール、トリオール、石炭、硫酸、硝酸、苛性曹達、加里、硫酸加里等二十二品目の物品を指定して国民に示したのである。尚昨年十月十一日公布された「輸出入品等臨時取締令」によつて現在輸入制限の行はれてゐるものは十六品目、輸出禁止の行はれてゐるものは十五品目、輸出禁止の行はれてゐるものは二十品目である。更に凡ゆる物資を消費への目的に集中せしめる為には不急の一般需要を制限し或は禁止することになつたもので、去る六月二十三日物資動員計畫が發表されて以来二ケ月の間に物資の使用制限緊縮規及び價格統制に関する幹十の法令及び命令が系統的に発令されてゐる特品に就き動員業界は驚つてなきや安と同情される譯であるが、その後に来るものは如何、又如何に處置して行くべきかは一般の知りたい所であらう、然に官廳から民間産業界に向つて親々として指示されることは未だ知つて居ない決して指ではないと思はれることが深山ある、即ち我々の衣食住に相當以上の緊縮があるのである、長期戰遂行下に於ける原料の供給及び製造制限の品目、或は是が代用品、今後の市場性等主なる問題に就き本社大阪支局調査の結果を大略紹介し傳へ以つて参考、資したい

綿製品

法律による使用制限強化の具體化は先づ綿製品から明始された、去る六月二十九日公布の綿布、綿製品の製造制限に関する件、綿製品の加工制限に関する件、綿製品の販賣制限に関する件、綿製品の販賣價格取締規則によつて実知として制限され業界は嘆聲然たる有様であつた。即日実施となつた結果それ以降は重要及び特殊品を除く一切の綿製品の製造及び販賣が禁止され、問屋の手元にある綿製品は同日以降一ケ月間加工を禁止されて了つた、唯小賣業者の手にあるストックのみは自由販賣が許されるがストック賣盡し後は新指令によつて新しく配給統制が実施される、七月二十一日に販賣禁止は一部緩和されたものの綿製品の国家管理は先づ曲りなりにも実現した訳である、元来我国に於ける棉花の輸入は昭和十一年の貿易表によれば年額八億五千万円に達して我国総輸入額七千九百十二億円の約三分の一の金額である、我国紡業の主原料は蚕糸外国からの輸入である時時統制に入つた場合棉花の輸入制限を受けるのは餘りにも當然過ぎる事と云はざるを得ないであらう、綿製品に制期的変革を齎したのは本宜なる故である、今その省令の内容を摘記すれば

一、綿製品の製造制限に関する件
六月二十九日以降内地用（関東州、満洲國、中華民國へ輸出するものを除く以下同じ）として工業組合聯合會、大日本紡績聯合會、日本綿織物工業組合聯合會、日本タオル工業組合聯合會、大日本紡績聯合會、日本綿織物工業組合聯合會、日本タオル商

台日漫画



藤澤藥品發賣品

易容服用
涼爽
劑精油肝
オネ肝精
發明特許

貧血結核治療防
胃腸强化促進

長特大五の精肝オネ（イセンカ）

①從來の單一肝油劑では擧げ得なかつた劃期的効果を充分に發揮する……
②配合成分の協力作用により造血臓器を刺戟し其機能を强化促進する……
③結核菌を始め　諸病原菌に對する抵抗力を亢進し免疫性を增强する……
④胃腸機能を强化すると共に特に脂肪や肝油の消化を容易ならしめる……
⑤肝油特有の噯氣臭氣を伴はず婦人子供にも服用容易且つ廉價である……

鱈肝臓
牛膽汁　配合

〔含有成分〕
肝油廿五%・ヴィタミン各種・肝臓ホルモン・酵素・カルシウム・アミノ酸・燐化合物・グリコーゲン・コレステリン・膽汁酸・膽汁色素等

適應症
惡性貧血・續發性貧血
其他貧血性諸疾患
肺結核・肋膜炎・其他結核性諸症・腺病質
虚弱兒童・榮養障害
ヴィタミン缺乏症
慢性胃腸病・早老等

錠劑
二五〇錠　二・〇〇
一〇〇〇錠　六・〇〇
二五〇〇錠　二三・〇〇
粉末
六〇瓦　一・八〇
二五〇瓦　六・〇〇
五〇〇瓦　一一・〇〇

新榮養讀本ノ若子無代進呈

大阪市東區道修町　株式會社藤澤友吉商店　東京市日本橋區本町　京都府西陣小門町

NK1322

麗人莊

竹田敏彦作
伊勢良夫畫

（52）

（前篇）

十日の翁（十五）

朝倉は、暫く默つたまま、章子の顔に眼を立つてゝる淋しい感動の色を見つめてゐた。そして、やつと、

「今なら御自由になるでせう」

何といふ淋しい感情――章子は瞬が迫つてきて、思ずぎりも、泣けさうになつた。

「犬山の夏から、數へて十年です……もう報いられてもいいのぢやありませんか」

流行に朝倉の声も顫へた。自轉の音から四十歳まで、相手は、二人の母の年齢に近いのである。

「勿、勿體なうございます……」

章子は顔を両手で掩うてしまつた。

「それでは、御承諾願へませうか……」

章子は、これほどの愛情には、命を捨てて本懐くはないと思つたしかし、母の章子には、子を捨てることができなかつた。

「お慢げは、死んでも忘れません……でも、御數の通り　二人の子供がございます……」

「お子様の事は、何うなつてゐましませんし」

「さうですか……」

朝倉は、そこで暫く默つて考へてゐたが、

「ねえ、章子さん……お子さんは二人とも僕の籍に入れませう」

「えッ……」

「あなたと僕と結婚をして、私が自分の嫡子と認知さへすれば、お二人とも朝倉の嫡出子になります……然へ先方へ認知させても、向こ十ヶ月」

「お恥ずかしいことですが、私生子に……」

「私生子……それはいけませんね」

「先方は、何うしても、入籍いたさるこ日本の對支態度は、如上在留民の保護の為にする山東出兵、多数の邦人の犠牲となる山東出兵、しかし、民の章子には、子を捨てることができなかつた。

「お慢げは、死んでも忘れません……でも、御數の通り　二人の子供がございます……」

「お子様の事は、何うなつてゐましませんし」

「さうですか……」

朝倉は、そこで暫く默つて考へてゐたが、

「ねえ、章子さん……お子さんは二人とも僕の籍に入れませう」

「えッ……」

「あなたと僕と結婚をして、私が自分の嫡子と認知さへすれば、お二人とも朝倉の嫡出子になります……然へ先方へ認知させても、向こ十ヶ月」

「お恥ずかしいことですが、私生子に……」

「私生子……それはいけませんね」

「先方は、何うしても、入籍いたさるこ日本の對支態度は、如上在留民の保護の為にする山東出兵、多数の邦人の犠牲となる山東出兵、しかし、民の章子には、子を捨てることができなかつた。

「お慢げは、死んでも忘れません……でも、御數の通り　二人の子供がございます……」

「お子様の事は、何うなつてゐま

支那事變の世界史的意義

（四）

在歐洲X Y Z

際るこ日本の對支態度は、如上在留民の保護の為にする山東出兵、多数の邦人の犠牲となる山東出兵、しかし、民の章子には、子を捨てることができなかつた。

「お慢げは、死んでも忘れません……でも、御數の通り　二人の子供がございます……」

「お子様の事は、何うなつてゐま

炎天下の演習

アメリカ第四十二師團兵隊の耐熱演習

工業研究所には新人を

新工業生

▽二千餘名の應募者中から選抜

▽十餘名の採用者

▽研究所の設置は十月

▽新人は研究所の中堅

▽研究所の設置は十月

▽新人は研究所の中堅

日本の國内情勢に對する世界の認識不足

外國では二、九三年の五・一五事件や二、九三年の二・二六事件に就いて、現在の隙がある。日本の國内情勢は、日本人の身體に關する危害禁止令を生じ日本側の「戒嚴令」を出し、言を左右にし何等聽みなかつたのである。歐洲人に關する禁止令ならばニウスパリウがある為、歐米各國に報道が流布されるであらうが、日本人に關する問題は從來各方面に通信しないのである。從つて歐洲の人達は恐らく日本人が如何に支那に於て迫害され、苦悩したかは知らなかつたであらう。

然るに是等極東の実際の事情を「詳」にせずして、日支の間に衝突の起つた結果のみに就いて、日本を惡者非難することは公正であらうか。

全島の青訓生參加
聯合演習を擧行
三日打合會を開催

【台南電話】近く台南州下に於て實施さるべき青年團聯合演習に關し二日午前九時内務部長、武藤司令部より岡田中佐、伊勢少佐會廳より太田嘉州より鶴内務部長、松山農産課長、千川大佐、小川教育課長、千川社會教育主任等參集種々打合協議をなしたが第一回演習には全島より青訓生約二千名が參加演習地は瓜門佳地方の調査をなした後現在る習ヶ丘あるが大體に於て台南地近郊で行ひ來施期間は來る十一月下旬から交は十二月上旬となる南部で之が實施に關する具體案は軍司令部で作成する事になつてゐる

軍事援護の徹底を圖る

彰化郡では長期戰に對應して今後に於ける軍事援護の徹底を期する爲來る十三日午前十時から郡會議室に軍事援護、方面委員、聯合、愛國、國防婦人會員等の參集を求めて軍事援護事業打合會を開催するが援護事項は左の通り

△現下戰局の推移に鑑み銃後軍事援護の徹底を期するの要ちと認むこと方策に關し協議せんとす

事務監査

【東港電話】高雄州東港郡では九月中旬より十月中旬迄郡下に於ける各街庄役場の事務監査を施行することになつたが

北斗郡下の農民
蔗作報國に邁進
植付け申込み殺到

中部有數の蔗産郡である北斗郡では戰時下糖業強化の國策の線に沿ひ過剰郡下に區域を有する糖業明糖、碧成の二製糖工場は何れも各々思ひ切つた奬勵方法を設定して以來一般の自覺と併せ、各地共早くも蔗作植付申込み殺到と云ふ喜ばしき現狀を呈してゐるが就中碧糖はこれ迄の二期作に引續き碧糖のお膝下である溪州、埤頭兩庄では同碧谷、倉光兩庄長直轄農産課長が陣頭に庄主任の糖業強化の講演會を通じ極力呼び掛けた功奏したからか一般も嘸一の地と認の利を併せ得てゐる蔗作可能有樂地を感じ進んで蔗作栽培に進む事となつた模様で碧糖は既に沿岸の各地に移り殺到の模様で之が實施に關する具體案は軍司令部で作成する事になつてゐる

軍事援護の徹底を圖る

彰化郡では長期戰に對應して今後に於ける軍事援護の徹底を期する爲來る十三日午前十時から郡會議室に軍事援護、方面委員、聯合、愛國、國防婦人會員等の參集を求めて軍事援護事業打合會を開催するが援護事項は左の通り

△現下戰局の推移に鑑み銃後軍事援護の徹底を期するの要ちと認むこと方策に關し協議せんとす

屏東市葬
嚴かに執行さる
鶴田少佐外　柱の英靈

【屏東電話】歩兵第一聯隊少佐外柱の英靈を明治屏東市葬は四日午後五時から屏東公園に於て神式により聯隊に勢行定刻參列者一同起立黙禱する聯を終に聯隊に於て文官代表、縣知、縣議、知事、武官代表、縣議、縣議、婦人會一般參列者李校長、衛生部代表の會一般參列者李校長、衛生部代表の聯に主軍葬隊後に續に參列者長、挨拶あつて六時閉式したが聯隊の感慨無量であつた

【屏東電話】歩兵第一聯隊少佐外柱の英靈を明治屏東市葬は四日午後五時から屏東公園に於て神式により聯隊に勢行定刻參列者一同起立黙禱する聯を終に聯隊に於て文官代表、縣知、縣議、知事、武官代表、縣議、縣議、婦人會一般參列者李校長、衛生部代表の會一般參列者李校長、衛生部代表の聯に主軍葬隊後に續に參列者長、挨拶あつて六時閉式したが聯隊の感慨無量であつた

港の都
誇り
白波を蹴上げ六十餘名が遠泳
水泳講習會納會の壯擧

【高雄電話】既報高雄州職員の高雄港横斷遠泳は四日午前六時港内に於て水泳講習會納會兼行後午後二時より行はれたが先づ内海知事の挨拶、生徒代表の注意があつて内海知事を先頭に全員六十名が一齊に飛込んだ、當日は絶好二十四度水温、二十六度潮風の絶好のコンディション、コースは高雄港横斷の後定であつたが潮流の關係で一番ブイより七番ブイ迄約二キロ變更され、高雄高女選手五名及び高中選手六名も特別參加し二列縱列の隊形で太鼓やユーヨの掛声も勇しく四十分で渡き終る一名の落伍者もなく眺る盛況であつた

警察課長感激

【羅東電話】羅東郡警察課では郡庁前廣場に代表者及び寺廟管理人二千餘名の參集を求め同郡役所樂士の會議を

花蓮港街で
遺家族會を組織

花蓮港では今回梅野潤太、東鶴郡長、吉田花蓮郡守その他遺家族の有力者を中心に花蓮港

土城庄の勤行青年隊
神社敷地の整地に奉仕

【新北州海山郡土城庄】庄内男女青年隊二千二百名と十八中隊（部落）三千六小隊に編成し土城神社敷地の整地、根切作業の勤行奉仕を十二日午前八時より十日間の豫定で土城神社敷地の整地、根切作業に同隊は庄内男女青年隊二千二百名と十八中隊（部落）三千六小隊に編成し

暑中日記

(四)

田中貢太郎

九月、曇雨、小田急の和泉多摩川の河畔で松茸のタタキを作つて、稔やることになつてゐたので十時から出かけた、新宿驛には大木俊夫、早川埈郎の両君が來てゐた、間もなく、吉田三郎、鷹永松士郎口徳治の三君が來た

吉田君の話で、山崎君も克子夫人も來られない、又斎田利道君も従弟が殺くなつて、今日あたり葬式だから來られないだらうといふことでつたが、斎田君は前日葬式をすましたといつて十二時頃來た、田林夫人、田岡興夫、金谷堯治、安藤二郎、大西鶴の諸君も來た、十二時になつて、平野鶴夫君が來ることになつてゐるので、それが來れば出かけようといふことになつたが、金谷君の話に、平野君は昨日熱海を歩いてゐたとの事であるから、私は

「平野は熱海をほつつきよる、來ん、來ん、出かけよう」

といつて、鷹が待たうと云ふのを止めて、小田急の驛所へおりて往つた、松田鶴君が來て改札口へ出て來ようとしてゐるのに逢つたそこで一行は江の島行に乘つて出發した、やがて和多多摩川駅、其処に接近した和泉の支店があつた、新井八郎君に逢ひ、茶を飲んでから別邸へ行つた、別邸といふのは新井君の住宅で、新井君は若江の村役場に勤めながら、傍ら料理をやつてゐたので、私は七年以來知つてゐた

一行は多摩川の土手へ出て北礁から十町ばかり上流へ往つた、私は田林夫人と二行の先に立つて來て一緒になつた

例によつて河原石をセメントで堅めた所を見つけて入つた、一行はまづ前の川縁へおりて往つた、安藤君と田林夫人は、携帯してゐた鶴嘴を弄りだした、私はその一方で、お媽さんに一尾の松茸の料理をさした、その松茸は一尾一円以上もあるもので、其朝、新井君が河岸へ往つて見つけて來たものであつたタタキを作るには俎板が要る、そこで大火鉢を二つ合せて茶碗を鍋で煮つて俎板にし、それに鶴をまぶした松茸の肉を載せて、門口の風の當らない処で麦藁を焚いて、それを大きな皿鉢に盛つたが、其処には大鉢がなさうにもあるし、亦あつても嫌いので、かはりに青鱚鮮を入れる事なり、田岡君が安藤して、鶴一作つてゐる青鱚鮮を鍋へ入した、和泉君からは、鶴の料理が出た

私は鶴持がいいので酔つぱらつて、何時の間に か眠つてしまつたそして起されてみると田林夫人はとうに帰り、一方では安藤君が大鉢になつて將棋をやり、又鶴を喫つてゐる者もあるやうであつたが、私は頭が鶴鶴としてゐるので、そのまゝうつらうつらとしてゐると鶴がもう起きはじめた、私は飛り起されては大変だと思つて、思ひきつて起きていて往つたが、電車の中でも又眠つて、新宿へ往つて起きれ、それから安藤君と品川行の電車に乘る処へ來てもらつてやつと帰つた

○

十日、朝は晴れてゐた、前日八百屋から胡瓜の未熟を大瓶二つもつて來てあつたので、美味と美鶴にいひつけて酢漬にし、その後で梅干を漬さした

十二時になるなり、酒に往つたが、十二時半のニュースに遇れないやうに、鳥の存水のやうに入るなりすぐあがつたので、酒屋の女中が

「何か御用ですか」

といつた、私の酒の早いのは知られてゐるがその時はそれ以上に早かつたので、女中は用を秘だしておがつたとでも思つたらしい四時から二瓶

○

十一日、晴、台中の坂本義蔵氏が九月三日早朝逝去したといふ通知があつた、坂本氏は彰化銀行の重役で、霞坂本商會の令兄であつた、二人とも土佐出身の名士で代議士になつたこともあつた、三年前友人と言高へ往つた時、素晴敵氏が主となつて、私のために土佐人からなる酒宴を催してくれた

すくなつた酒の水に水道の水を足した、朝八時頃坂本氏から電話、それに聞驚して玉谷君に電話したが、まだ出て來てゐなかつた、午頃近く美鶴を伴れて近くの坂本氏に往つて、二本の竹を買ひ、それを二人で持つて帰つて、鶴で雨蛙を切り、鶴を開つて駒引を作つた

午時、四時ニュースを聞きながら一瓶半、倦怠の氣分が稍人間的になつたらしい兆候が見えた

この疑惑に何処から來たのか不思議でした。私は女が、彼と一緒に暮した証拠を隠匿を大切にしまつてゐるのをみて何程奇心をかられました。

それで、それから後は、事毎にからかひの種にして彼をいじめるやうにしてゐました。組の中でも大つびらな話になつて、××××××××××××××××××

など、あとくからかふ人もあるまでした。彼が苦痛に満ちた表情を顔に浮かべて来る。私だけ年寄りにとつて面白い見ものなのでした。

以前からの鶴嘴だつたらしい厳藥をたしなんでゐたその女が、分量を誤つて死んだのは一昨日の夕方でした。夜になつて、ぼんやり出先からかへつて來た彼は、一言

「死んだ」と、つぶやいたきりでした。誰が死んだのかその時は判りませんでした。知つてゐる人が死んだのでふさいでゐるのだらうとさうなるのは、当時の行方は香として判りませんでした。

既に無い者と諦めかつてゐた頃です。大世界の宮殿に、見事に解りました。

瑞枝は、任地に居いて、公務の一段落を済すと直ぐ、兄弟姉妹の行元の探索を初めました。

あれ以けの面倒があり、あれ丈けの財産を持つてゐた瑞枝なので如何に亡命者とは言へ、直ぐ解りさうなものだと、思つてゐたのです。

「私は兄弟の面倒をみて、自分たちは、何時でも、お国の為に、尽くすつもりです」

瑞枝は、誇らしげに言ふのです。

「私は兄弟の面倒をみて、自分たちは、何時でも、お国の為に、尽くすつもりです」

瑞枝は、誇らしげに言ふのです。

思ふに、彼は、自分の家を、兄弟姉妹にはたしたのに、彼の妻も、

創作

面影

小島泰介

(三)

北林さん。

彼が離婚したのは、本能的に、嫌悪する為だと彼は言つた事です。

が、それはうそだのです。その理由は、彼が渡台した過去に遡らねばなりませんが、彼は或る一寸した心の行き違ひから三年もの間同棲してゐた愛人と別れてしまつたのです。その愛人の為に彼は職を追はれました。彼は驚いました。つらい悲しいめに遭ひました。さうして練れた結果、彼の年には、さはしくもないまでに技巧的な酸つかの作品が鑑賞文壇で認められる事になりました。言はば苦楽を共にした仲なのでしたが、親しすぎて却つてギヤップを感じるあの微妙な感情をそられるままに心にもない別れ方をしてしまひました。一年越しの音信、活、彼に本宮の事を故へました。失つてゐたものを得たわけでしたやさしいと言ふ事を初めて、なくしてならないと言ふ事を初めて、なくしてならないと言ふ事を初めて、なくしてならない

黒煙と共に飛び上る 馬廻嶺から逃る敗敵

陸の荒鷲藤井中尉の話

【小港口四日發本社特電】二日午後馬廻嶺から進撃する敵に空襲を加へ〇〇基地に舞戻した下村部隊戦闘機隊は敵の敗走振りを左の如く話つた

馬廻嶺から西安に至る南郊線沿線を敵は三千、五千多くて十百位の縦列で頻々敗走を続けて居る、飛行機から見ると到る所で射撃どころかまるで鳥子が飛び立つ様に川を飛び越えてクリークに飛び入り桟に蔽まれた敵軍は慌てふためいて逃げ廻る、陽炎を加へても死んでるのか生きてるのか身動きもせぬのだといのになると取残された水牛の腹に頭を突込んだまるものもある後退作戦の時の敗退兵は未だ統制かとれてるだが今度のは蒋軍の蒋系で統制も殺もないそれだけ兵隊の質が低下し又飛行機がなくなつて来たのだらう、爆撃の目標になるのを恐れて街安街道は通らず曲線道を逃げてゐる従つてトラック等を使用してゐない

戰死した飯塚部隊長

加納部隊長に代り奮戰した勇士

【上海四日發同盟】二宇山の敵戦闘機隊は昨秋の上海戦で大損戦を喫し北方小港の敵戦に名誉の戦死を遂げた飯塚部隊長は中支各地に奮戦し敵の撃墜に活躍し南州上海その他重要地点の警備に任じ来つたが今回の武漢攻略戦に際しては勇猛〇〇を出撃八月二十一日敵陽湖陣地上空に敵機上空を覆ひ敵戦闘機隊に対し敵機を撃墜し引続き蕪湖飛行場に対し敵機を撃墜し引続き蕪湖飛行場に対し敵機を撃墜し引続き蕪湖飛行場